

大人気『鬼滅の刃』を民俗学的に読み解く!

鬼と異形の民俗学

漂泊する異類異形の正体

國學院大學文学部准教授

いい くら よし ゆき

飯倉義之 監修

2021年

7月

発刊

漫画『鬼滅の刃』に
隠されたメッセージ!

鬼はなぜ藤を嫌うのか?

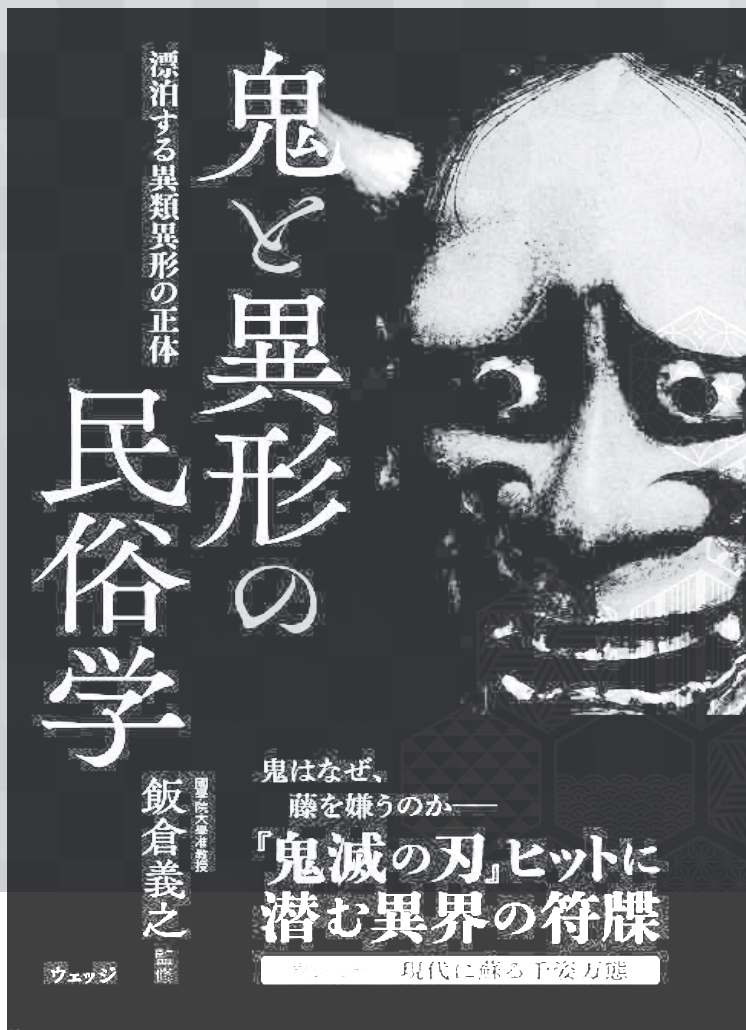
酒吞童子、百鬼夜行、ナマハゲ、桃太郎…

日本人が長い歴史のなかで追いやった

怪異を具現化した「鬼」の正体とは?

担当編集者の
コメント

歴史を紐解くと、「鬼」や「鬼殺隊」「柱」などのモデルが数多く登場し、『鬼滅の刃』の奥深さが感じられます。本書は漫画のエピソードも絡めて解説しているのので、「鬼滅」関連本としても楽しく読めます。



目次

第1章 鬼と異形の系譜

— 古典・伝説にあらわれた異類たちを読み解く

第2章 日本の闇に蠢く「異形のもの」列伝

— 異界からの訪問者を総覧する

第3章 呪術者・異能者たちの群像 — 怪異と対峙した「鬼殺隊」の原像

第4章 鬼と出会える聖地 — 闇の民俗とパワースポットをめぐる

コラム 1 鬼舞辻無惨と八百比丘尼

2 竈門炭治郎と炭焼長者

3 「全集中の呼吸」と剣術

4 竈門炭治郎と竈門神社

鬼はなぜ、
藤を嫌うのか——
『鬼滅の刃』ヒットに
潜む異界の符牒

現代に蘇る千姿万態

監修者略歴

1975年、千葉県生まれ。國學院大學大学院修士課程修了後、国際日本文化研究センター機関研究員等を経て、現在、國學院大學文学部准教授。専門分野は口承文芸学、現代民俗論。怪異・怪談、妖怪伝承に造詣が深く、妖怪をこよなく愛し、研究室は全国で集めた妖怪グッズであふれている。共著に『猫の怪』(白澤社)、共編著に『ニッポンの河童の正体』(新人物往来社)、『日本怪異妖怪大事典』(東京堂出版)、共監修に『京都・江戸 魔界めぐり』(NHK出版)、『日本の妖怪』(宝島SUGOI文庫)などがある。

★四六判並製・口絵8+208頁 【分野】民俗／歴史／アニメ研究

お申込・お問い合わせ

株式会社 ウェッジ

TEL: 03-5280-0528

FAX: 101-0052

東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング3F

FAX

03-5217-2661

好評発売中!

番線印

申込数

販売条件(注文)

鬼と異形の民俗学

漂泊する異類異形の正体

飯倉義之 監修

ISBN 978-4-86310-238-5 C0021 ¥1400 + 税

四六判並製・口絵8+208頁 ウェッジ 定価:1,540円(税込)

令和 年 月 日

冊